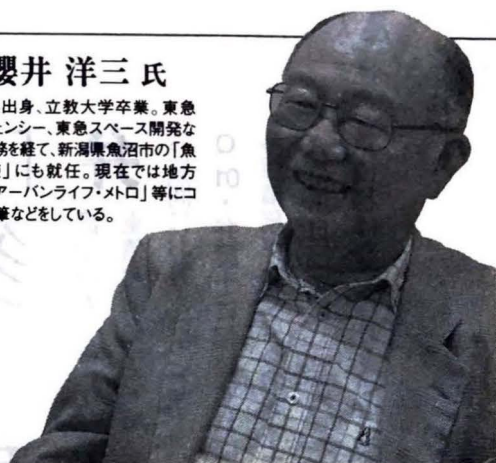


受講生インタビュー

立教セカンドステージ
大学訪問輝け!
シニア世代受講生に
聞く

▶ 櫻井 洋三氏

新潟県出身、立教大学卒業。東急エージェンシー、東急スペース開発などの勤務を経て、新潟県魚沼市の「魚沼特使」にも就任。現在では地方紙や「アーバンライフ・メトロ」等にコラム執筆などを行っている。



今

年4月に開講した、体系的なカリキュラムにそった日本初の生涯学習の場、「立教セカンドステージ大学」(本科一年、専攻科一年制)の第一期生の櫻井洋三氏にお話を伺った。

Q. 入学された動機は?

A. 現在67歳ですが、4年前にそれまで勤めていた広告業界を引退しました。以来、私の出身地でもある新潟県魚沼市のまちづくりや地域活性化の面で何かお役に立てればという気持ちがありました。コラムなどを書く中で、他県の事例や地方格差への目線などで、コミュニティ・デザイン

の知識を身に付けたいと思うようになりました。現役時代あまり勉強しなかった記憶もあり、改めてこの歳になっても勉強できるのは「立教セカンドステージ大学」だけだと

知り、入学しました。
Q. どのような科目を履修されているのですか?

A. 必修科目、選択科目、ゼミナールなど18単位の取得が義務づけられています。その中で私は、「コミュニティデザイン&ビジネス」を中心に学んでいます。現役の学生たちに混じって学べる授業もあります。全く違う年代の人たちとの交流も楽しみの一つです。

Q. 入学して3カ月ですが、大学生生活はいかがですか?

A. 色々な職業の方がいますが、ここでは今までは違い「一市民」として、縦社会ではなくフラットな付き合い合

いができる所がいいですね。先輩・後輩もないので、お互い尊重し合う事ができます。第一期生ということもあり、熱心な先生方と一緒にセカンドステージのための新しい大学を作り上げていくという気概で勉強しています。大学生活と執筆活動、地域活動を並行していますので、充実した忙しい日々を送っています。

